

令和元年度
3月補正予算主要事業の概要
(事業別説明資料)



目 次

(宮川振興事務所)

拡充 「棚田と板倉の里」の活性化	1
--	---

(農林部)

新規 獣医師の確保対策	2
---	---

拡充 「棚田と板倉の里」の活性化

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1, 146	国庫補助金 984	委託料 660
	一般財源 162	使用料 136
		その他 350
(現計予算 2, 552)		

2 事業背景・目的

宮川町種蔵集落は、農村の原風景が残る地区として知られていますが、人口減少に伴い地域住民による集落の景観保全が厳しい状況にあります。

これまで、関係人口による地域の活性化を目的に、集落を一つの村に見立てた「飛騨市ふるさと種蔵村」を設立し、ボランティア活動による集落保全活動などを実施してきました。

今回、令和元年8月に施行された棚田地域振興法による国の支援制度を活用し、棚田修復などの保全事業を実施するほか、岐阜大学と連携して飛騨市ふるさと種蔵村民と地元住民、あるいは種蔵を守り育む会それぞれが考える種蔵への想いを協働して実現に結び付けることにより、少子高齢化など種蔵集落が抱える課題の解決に資することができる仕組みの拡充を図ります。

3 事業概要

① 【拡充】飛騨市ふるさと種蔵村民の活動促進 (896千円)

岐阜大学と連携して、村民がやりたいことと、地元住民等がやってほしいことをホームページ上でマッチングさせる仕組み(プラットフォーム)の本格稼働を実施するとともに、マッチングメニューの掘り起こしを行います。また、ドローンを活用した空撮映像による最新の集落状況が把握できる仕組みや、ふるさと種蔵村民が集う「種蔵村議会」にテレビ会議システムを活用して参加できる仕組みを導入します。

② 【継続】空積みワークショップの開催 (250千円)

集落内の石積み棚田を修復しながら技術を継承するワークショップを開催し、初心者と経験者をクラス分けするなど、技術の段階的向上を図ります。



(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	7 地域振興費
所 属	宮川振興事務所地域振興課	TEL	0577-63-2311	予算書	P. 21

新規 獣医師の確保対策

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
6,000	一般財源	繰出金
(現計予算	0)	6,000

2 事業背景・目的

現在、市内には牛26戸、鶏1戸の畜産農家があり、市畜産課の獣医師を中心に家畜診療サービスを提供しています。また、近年の産業動物獣医師には診療技術や防疫対策のみならず、畜産農家の経営力を向上させるコンサルティング能力等も求められており、その役割は益々重要になりつつあります。

こうした状況を踏まえ、市内の産業動物診療に従事しようとする獣医師に対するインセンティブ制度を設けることで、民間の開業獣医師も含めた獣医師の確保対策を図り、世界に誇る飛騨牛の産地を維持し更なる発展を目指します。

3 事業概要

「産業動物獣医療体制確保対策基金」を創設し、市内の産業動物診療に従事しようとする獣医師に対し、当面の生活等に必要な資金を無利子で貸付けます。また、一定期間に渡り市内の産業動物診療に従事した場合は、貸付金の返済を全額免除します。

①奨学金返還資金の貸付け

獣医課程に要する修学費用は高額であり、奨学金を借り入れて長期間に渡り返還を続けている方も少なくありません。こうした経験を積んだ即戦力の獣医師に飛騨市を就業地として選んでいただけるよう、月々の奨学金の返還に充てる資金を貸付けます。

- ・貸付額 5万円/月（最長5年間）
- ・返還免除 貸付月数の1.5倍の期間に渡り市内の産業動物診療に従事した場合

②就職準備資金の貸付け

U I ターン等により市内に転居して産業動物診療に従事しようとする獣医師に対し、引っ越し費用等に充てる就職準備資金を貸し付けます。

- ・貸付額 20万円（1回限り）
- ・返還免除 2年間に渡り市内の産業動物診療に従事した場合

(款) 6 農林水産業費	(項) 1 農業費	(目) 4 畜産業費	
所 属	農林部畜産振興課 Tel0577-73-0152	予算書	P. 29